

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 稲城市立稲城第二中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☒ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ( )

所在地 〒 206 - 0822  
東京都稲城市坂浜 1 3 4 0 番地

E-mail inagi2j@educet.plala.or.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 1 2 1 名 女子 1 2 6 名 合計 2 4 7 名  
 児童・生徒の年齢 1 3 歳～1 5 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☒ そのほか ( )

### 3. 活動内容

本校の教育活動推進の1つの柱を「つながり・かかわり」とし、(1)～(13)のESDの取り組みを推進した。

A:人と人のつながり・かかわり	※それぞれの活動で、左のA～Cの3つの「つながり・かかわり」を意識した。
B:人と自然のつながり・かかわり	
C:人と社会のつながり・かかわり	

#### (1) 福祉を学ぶ〔福祉体験・交流〕(A C)

1 学年生徒全員が、障がい者や高齢者への理解を深め、障がい者や高齢者に思いやりの気持ちをもって積極的に関わることができるように、次のような活動を行った。

- ①車椅子体験⇒実際に車椅子に乗る体験および介助する体験をした。
- ②白杖体験 ⇒アイマスクをつけた上で白杖を持って歩く体験および介助する体験をした。
- ③点字体験 ⇒点字の基礎を学んだ。
- ④手話体験 ⇒手話の基礎を学んだ。
- ⑤高齢者との交流⇒すぐ近くの高齢者福祉施設で、施設見学および高齢者との交流活動を行った。

#### (2) 自然・環境を考える〔校庭芝生の維持管理・地域美化活動・1 年野沢温泉村宿泊体験学習〕(A B)

- ①校庭芝生の維持管理⇒約 2,500 m<sup>2</sup>の校庭芝生の維持管理をする中で、地球温暖化等の環境問題について考える機会を作っている。
- ②地域美化活動⇒生徒が一人1本ずつトングを持ち、地域のゴミを拾いながら登校し、ゴミを生徒会が回収する取り組みを行った。
- ③1 学年生徒全員が、長野県野沢温泉村で3泊4日の宿泊体験学習を行う中で、次のような活動を行った。
  - ◇スノーシュー体験⇒小学6年生の夏に歩いた山の中を、今度は冬にスノーシューを履いて雪の上を歩くことで、自然の偉大さやブナ林を残すことの意義等を学んだ。
  - ◇雪国の生活体験⇒雪の多い地域の生活の大変さを体験した。

#### (3) 働く人に学ぶ〔身近な人の職業調べ・職業講話〕(B C)

- ①身近な人の職業調べ⇒1 学年生徒一人一人が身近な人の職業についてインタビュー（あるいは見学）してレポートにまとめて発表することで、多くの職業について学んだ。
- ②職業講話⇒2 学年生徒が、地域（学区内）の方々に職業についての講話をしていただき、働くことの意義ややりがい等に学んだ。
- ③保育体験⇒2 学年生徒が、3 日間保育園や幼稚園で体験させてもらう中で、保育士や幼稚園教諭の仕事について学んだ。

#### (4) 保育を学ぶ〔保育体験〕(A C)

- ①保育体験⇒2 学年生徒が、3 日間保育園や幼稚園で体験させてもらう中で、自分自身の成長を振り返るとともに、「いのち」の大切さについて

学んだ。

(5) 日本の文化・伝統を知る〔2年校外学習・3年修学旅行・箏の授業・武道について学ぶ〕(BC)

- ①校外学習⇒2学年生徒が、東京の下町（上野・両国・浅草等）を巡る中で、日本の伝統工芸や文化等を学んだ。
- ②修学旅行⇒3学年生徒が、奈良・京都に2泊3日滞在する中で、日本の歴史や文化、伝統工芸等について、自分の目で確かめ肌で感じる事ができた。
- ③箏の授業⇒日本古来の楽器「箏」を音楽の授業に取り入れ、プロの方から指導を受けて、日本の伝統楽器や音楽に対する理解を深めた。
- ④武道について学ぶ⇒体育の授業では各学年男女ともに「柔道」について学んだ。また、剣道の達人に「木刀による剣道基本技稽古法」や演武「日本剣道形」を披露してもらい、日本古来の武道の精神等について学んだ。

(6) いのちの大切さを学ぶ『いのち』の授業・救命講習(A B)

- ①「いのち」の授業⇒全校生徒が、がん患者と医師の方に話を伺うことで、生徒一人一人が「いのち」の大切さについて考え、前向きに生きていくことの大切さを学んだ。
- ②救命講習⇒3学年生徒が、消防署の方から心肺蘇生法やA E Dの使い方等、人の命を助ける方法を学んだ。

(7) 地域社会を考える〔稲城市E S D卒業プログラム・地域行事や福祉施設等でのボランティア活動〕(A B C)

- ①E S D卒業プログラム⇒「地元の消防団の方の講話」「住んでいる地域の歴史講座」を通して、自分が住んでいる地域のよさや地域に貢献することの大切さを学んだ。
- ②ボランティア活動⇒「社会を明るくする運動」の街頭活動や地域行事（2地区の盆踊り・塞の神・どんと焼き）の準備や運営の手伝い、年末の助け合い運動や地域公民館のお祭りの運営、福祉施設の手伝い等に、多くの生徒が自ら積極的にボランティアとして参加し、地域の方々と交流を深めた。

(8) 人間関係づくり〔大江戸ダンス・縦割り活動〕(A)

- ①大江戸ダンス⇒運動会で、全校生徒が1～3年の縦割り集団の中で上級生が下級生にしっかりと指導しながら、「大江戸ダンス」を踊る取り組みを行っている。
- ②縦割り活動⇒さまざまな行事で、縦割り学級の集団で活動することにより、異学年の生徒同士の交流を図るとともに、日頃から上級生が下級生の面倒を見る体制を作っている。

(9) 防災について学ぶ〔防災自助パック・避難訓練・防災訓練・防災キャンプ〕(A B C)

- ①防災自助パック⇒震災に備えて、水や食料、衣類等を学校に準備しておく

ともに、自分の行動について考えさせたり自分への励ましの手紙や家族からの手紙等を準備させた。

- ②避難訓練・防災訓練⇒地震に備えての避難訓練や防災訓練を繰り返す中で、震災が起きたときの心構えや行動の仕方等について学んだ。
- ③防災キャンプ⇒学区内の各自治会や消防団、各団体、市の消防署等の協力を得て、避難所開設や生活体験等を行うことにより、震災時の行動の仕方やまわりへの貢献の仕方等について学んだ。

(10) 外国について知る [外国のオリンピック・世界の国々紹介] (A C)

- ①外国のオリンピック⇒A L Tの方から、出身地オーストラリアのシドニーオリンピック・パラリンピックについて映像を交えてお話していただくことで、生徒たちが2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催のイメージをつかんだ。
- ②世界の国々紹介⇒3学年生徒が、市国際交流の会の方から世界50カ国について映像を交えて紹介していただき、世界の国々の様子等を知ることができた。

(11) 「言語技術」[問答・描写・物語・視点を変える・説明・分析・再話・要約・他] (A C)

- ①「言語技術」⇒「読む」「書く」「話す」「聞く」という4技能をバランスよく伸ばし、グローバル社会を生き抜くために必要な論理的に考えて相手に分かりやすく伝える力をつけるために、全校体制で全教育課程にさまざまなプログラムを導入した。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他 ( )